

瀬野川水系における有機フッ素化合物の
検出に係る川上弾薬庫内の実態調査等の
実施要望書

令和6年2月

広島県東広島市

有機フッ素化合物（ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）。以下「PFOS 等」という。）は、環境や食物連鎖を通じて人の健康や動植物の生息・生育に影響を及ぼす可能性が指摘されているなか、日本各地の産業施設周辺や、米軍施設等で高濃度の PFOS 等が検出されており、国民の関心が高まっています。

本市が本年度に実施した瀬野川水系の水質調査において、瀬野川水系の公共用水域 3 か所（川上弾薬庫（東広島市八本松町宗吉）北東出入口フェンス付近の水路及び南側出入口付近の瀬野川、瀬野川に架かる則重橋直下）、地下水（個人宅の飲用井戸） 3 か所で、暫定指針値を大幅に超える PFOS 等が検出されました。

本市では、まずは市民の健康を第一と考え、井戸水の飲用を控える呼びかけを行うとともに、飲料水を配布しているほか、継続的に公共用水域及び地下水調査の実施による汚染範囲の把握を行っているところです。

PFOS 等の検出については、市民の不安が大変大きく、早急な対応が求められています。

つきましては、原因の究明等の一環として、川上弾薬庫内における PFOS 等を含有する泡消火剤の使用の実態等について、下記のとおり米軍に問い合わせの上、回答くださいますようお願いいたします。

記

1. PFOS 等を含有する泡消火剤の使用の有無等を確認すること

(1) 保有履歴等について

- ① 保有していたか。
保有していた場合はいつからいつまでの期間だったのか。
- ② 保有期間中の不慮の漏出はなかったのか。
ある場合はその時期と漏出量とその対応方法
- ③ いつどのような方法で処分したのか。

(2) 使用履歴等について

- ① 川上弾薬庫内での使用期間はいつからいつまでの期間だったのか。
- ② 使用量（使用期間における年度ごとの年間使用量と合計量）はどのくらいだったのか。
- ③ どのような使用実態（周辺の土地に散布していたか、コンクリート等で閉鎖された漏出がない状態での使用のみだったのかなど）で、漏出はなかったのか。
- ④ 使用場所は、本市が令和5年12月27日に水質検査を実施した地点B付近（別図参照）のみか。

2. 川上弾薬庫内における米軍による水質調査の実施と数値の公表（過去履歴があればそれも含む。）

3. 原因が川上弾薬庫内にあると考えられる場合の対応方針の有無及び内容の公表

令和6年2月8日

防衛省中国四国防衛局長 様

東広島市長 高垣 廣徳